

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	NPO法人との協働による図書館運営事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課 図書館	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="15"/> 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなと			終期
(小項目)		図書館			
施策	2	市民参加の図書館運営の推進			
基本事業	2	市民参加による図書館運営の推進とサービス向上			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	多くの市民が参加する効率的な図書館運営						
事業計画	26年度に何を計画していたか	図書館運営の円滑化及びサービス向上をさらに図るため、図書館業務委託の拡大を検討する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		運営・行事に参加した述べ人数	5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	図書館業務委託の拡大に向けて、NPO法人と協議を行い、平成26年10月より図書館業務委託の拡大と開館時間延長の試行実施を行った。平成27年4月からの図書館業務委託の拡大に向けさらに協議を重ねた。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	ボランティア正会員数	114	128	115	115	115	人
	2	図書館等での行事件数	218	193	200	200	200	件
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	運営・行事に参加した述べ人数		5,131	5,530	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			97.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		前倒し実施		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	6,050	6,050
		全体予算額	0	0	0	0	11,825	11,825
		決算額	0	0	0	0	11,825	11,825
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)		総人件費		総事業費	
		4.0	2.5		32,570		44,395	

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：NPO法人との協働による図書館運営事業】
(千円)

年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度	
事業費推移	事業費	6,050	11,825	23,100	-	-
	うち一般財源	6,050	11,825	23,100	-	-
	人件費	45,138	32,570	9,776	-	-
	総事業費	51,188	44,395	32,876	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった NPO法人に図書館業務委託を拡大することにより、開館時間の延長が実施できた。
	効率性	B:概ね効率的だった 平成26年10月より、即日追悼コーナーや本屋大賞等の話題のコーナーが作られるようになった。
②成果に対する評価	指標名	運営・行事に参加した述べ人数
	目標	5,700 人
	実績	5,530 人
	評価	B:概ね目標を達成できた 行事数は少なかったが、県下の子どもの読書活動をしている7つのグループの1つとして、県の「みんなで応援する子どもの読書推進事業」を実施し、多くの人が運営・行事に参加でき、概ね目標を達成できた。
③総合的な評価	B	図書館業務委託を拡大したことにより、NPO法人は新たに実施する図書館業務が増え、自主的なボランティア活動において行事件数が少なくなったことによりB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	NPO法人は自主的なボランティア活動と新たに委託拡大した図書館業務を実施することとなった。新たに委託した図書館業務は経験が少ない部分があるため、普遍的な図書館サービスの提供のために早急に専門的な研修が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	NPO法人と協議をし、計画的な研修を実施する。			
	H28年度	NPO法人と協議をし、計画的な研修を実施する。			